

# 平成20年度 農作物病虫害発生予察6月月報

平成20年(2008年)7月2日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
6.1	19.9	20.6	△ 0.7	24.5	26.0	△ 1.5	15.7	15.6	0.1
6.2	21.6	21.2	0.4	27.1	26.4	0.7	17.1	16.6	0.5
6.3	21.5	21.8	△ 0.3	26.7	26.6	0.1	17.0	17.5	△ 0.5
6.4	23.3	22.3	1.0	26.8	26.7	0.1	20.3	18.4	1.9
6.5	22.2	22.8	△ 0.6	25.6	26.9	△ 1.3	19.9	19.3	0.6
6.6	22.6	23.4	△ 0.8	26.6	27.5	△ 0.9	19.1	20.1	△ 1.0
平均・計	21.8	22.0	△ 0.2	26.2	26.7	△ 0.5	18.2	17.9	0.3
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	6.1	75	72	3	21.5	28.1	△ 6.6	14.9	31.9
6.2	69	74	△ 5	0.5	34.0	△ 33.5	26.2	29.9	△ 3.7
6.3	75	76	△ 1	40.0	41.3	△ 1.3	27.2	26.7	0.5
6.4	84	78	6	187.5	53.6	133.9	12.3	23.1	△ 10.8
6.5	82	81	1	31.0	69.7	△ 38.7	4.7	20.1	△ 15.4
6.6	79	82	△ 3	61.5	76.3	△ 14.8	19.6	19.8	△ 0.2
平均・計	77	77	0	342.0	303.0	39.0	104.9	151.5	△ 46.6

## II 作物の生育状況

- 1 イネ : 日照不足の影響により生育が遅れ、草丈は短く、茎数は少なく、葉色は濃かった。
- 2 カンキツ : 開花時期は平年並みで、着果数は平年に比べて少なかった。
- 3 ナシ : 果実の肥大は平年並みであった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
<p>イネ 葉いもち</p>	<p>1 初発生 補植用苗における発生は6月12日(平年初発生6月20日)に周南市で認められ、平年に比べ早かった。 本田における発生は認められなかった(平年初発生6月25日)。</p> <p>2 定期巡回調査 (1) 全県における発生 中旬の巡回調査では、葉いもちの発生は認められず平年並みであった。苗いもちの持ち込みは認められなかった。 下旬の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場率0%(平年2.5%)、発病株率0%(平年0.4%)、発病度0(平年0.1)で平年に比べやや少なかった。また、1000株調査では、発生ほ場率0%(平年0.9%)、発病株率0%(平年0.3%)で平年に比べやや少なかった。補植用苗の残存ほ場率は9.5%(平年20.3%)で平年に比べやや少なかった。</p> <p>(2) 中山間地域における発生 6月6半旬の中山間地域(周防山間、長門山間、長門中間30ほ場)における発生ほ場率は0%(苗いもちの持ち込みの多かった1998年と2004年を除く過去19年間の平均は3.5%)で、発生概評は「少」であった(発生ほ場率が1~5番目に高かったほ場を「多」、6~14番目を「平年並」、15~19番目を「少」とした場合)。</p>	<p>周南市</p>	<p>—</p>
<p>ばか苗病 萎縮病 縞葉枯病</p>	<p>下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>ツマグロヨコバイ</p>	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.3%(平年4.0%)、10株当たり虫数0.01頭(平年0.05頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5%(平年13.0%)、10株当たり虫数0.5頭(平年0.3頭)で平年並みであった。</p>	<p>県内全域</p>	<p>少 2,969</p>

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ ヒメトビウンカ	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年1.3%)、10株当たり虫数0.13頭(平年0.01頭)で平年に比べ多かった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.3% (平年6.7%)、10株当たり虫数0.4頭(平年0.1頭)で平年に比べ多かった。</p>	県内全域	少 3,860
セジロウンカ	<p>6月11日に萩市明木の巡回調査ほ場で初確認(平年5月30日)され、平年に比べやや遅かった。</p> <p>梅雨前線の発達に伴う下層ジェット気流の状況と予察灯およびネットトラップの誘殺状況から、6月21日(少)頃に飛来したと推測された。</p> <p>予察灯における誘殺数(4か所、5月11日～6月24日合計)は3頭(平年168.2頭)で平年に比べやや少なかった。</p> <p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率2.7% (平年2.5%)、10株当たり虫数0.04頭(平年0.02頭)で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.8% (平年38.7%)、10株当たり虫数0.02頭(平年1.00頭)で平年に比べ少なかった。</p> <p>20回すくい取り調査では、発生ほ場率10.0%(1ほ場当たり平均0.3頭)で、県中西部を中心に飛来していることが確認されたが、前年(発生ほ場率55.0%、1ほ場当たり平均虫数1.9頭)に比べ少なかった。</p>	県内全域	少 891
トビイロウンカ	<p>6月9日に下関市の予察灯で初確認(平年6月21日)され、平年に比べやや早かった。</p> <p>予察灯における誘殺数(4か所、5月11日～6月24日合計)は2頭(平年0.4頭)で平年に比べやや多かった。</p> <p>中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.3%)、10株当たり虫数0頭(平年0.001頭)で平年並みであった。20回すくい取り調査では、発生ほ場率0%(1ほ場当たり平均0頭)で前年並みであった。</p>	—	—

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ コブノメイガ	6月25日に山陽小野田市西高泊の雑地す くい取りで初確認(平年6月24日)され、 平年並みであった。 6月1日～30日の山口市のマレーズトラッ プによる誘殺数は、0頭(平年7.9頭)で平 年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年 0.7%)、被害株率0%(平年0.03%)で平 年並みであった。	県内全域	—
イチモンジセセ リ (イネトムシ)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年10.5%)、10株当たりつと数0.09 (平年0.06)で平年に比べやや多かった。 巡回調査ほ場では、中～老令幼虫が確認 され、発生時期は平年並みであった。	県内全域	少 2,969
イネミズゾウム シ	予察灯における誘殺数(4か所、4月～5 月合計)は20頭(平年517頭)で平年並みで あった。 予察灯における成虫誘殺ピークは、認め られなかった(平年成虫誘殺ピーク5月9 日頃)。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率49.3% (平年57.6%)、被害度5.9(平年7.4)で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率62.5% (平年51.6%)、被害度7.3(平年4.6)で平 年に比べやや多かった。	県内全域	中 3,860 少 10,986 計 14,846
イネゾウムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率22.7% (平年30.5%)、被害株率3.5%(平年2.9 )で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率48.8% (平年30.3%)、被害株率9.1%(平年2.2 )で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 297 多 891 中 1,781 少 8,610 計 11,579
フタオビコヤガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.2%)、株当り虫数0頭(平年0.001頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.4%)、株当り虫数0頭(平年0.005頭) で平年並みであった。 県内の予察灯では成虫誘殺最盛期が確認 できなかった。	—	—

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)															
イネ イネカラバエ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%)、被害株率0% (平年0.03%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.2%)、被害株率0% (平年0.12%) で平年に比べやや少なかった。	—	—															
ニカメイガ	予察灯による誘殺はなく、平年に比べやや少なかった。 各地点の予察灯の誘殺数 (5月1日～6月24日)	—	—															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>昨年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下関</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5.6</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>萩</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8.3</td> <td>平年並</td> </tr> </tbody> </table>	地点	本年 (頭)	昨年 (頭)	平年 (頭)	評価	下関	0	0	5.6	やや少	萩	0	0	8.3	平年並		
地点	本年 (頭)	昨年 (頭)	平年 (頭)	評価														
下関	0	0	5.6	やや少														
萩	0	0	8.3	平年並														
斑点米カメムシ類	予察灯における誘殺数(4か所、5月5半旬～6月4半旬合計)は、アサジカスミメは90頭(平年28.6頭)で平年に比べ多く、ケハカメムシは0頭(平年0.4頭)で平年並み、アヒゲホトリカスミメは2頭(平年6.5頭)で平年並みであった。 柳井市、秋穂町の極早期栽培地域のイネ科雑草地における20回すくい取り調査では、アサジカスミメは55.5頭(平年25.4頭)で平年に比べやや多く、シロホカメムシは0頭(平年0.7頭)、ホハカメムシは0.3頭(平年1.5頭)で平年並みであった。 県内各地で6月下旬頃からエノコグサの穂が目立つようになり、ケハカメムシ等の発生源となる雑草地が増加傾向にある。	—	—															

※葉いもちの1000株調査の発生ほ場率及び発病株率の平年値、補植用苗の残存ほ場率の平年値は、過去8年の平均値

## 2 果樹

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) そうか病	下旬の巡回調査では、発病ほ場率4.5% (平年18.3%)、発病葉率0.1% (平年0.6%)、葉の発病度0.01 (平年0.1)、発病果率0% (平年0.7%)、果実の発病度0 (平年0.2) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 80

## 2 果樹

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率95.2% (平年99.1%)、発病葉率17.5% (平年42.9%)、葉の発病度2.8 (平年6.6)、発病果率4.4% (平年7.7%)、果実の発病度0.7 (平年1.2) で、平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 1,011
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.6% (平年23.3%)、発病葉率1.2% (平年2.4%)、発病度0.2 (平年0.6)、発病果率0.1% (平年0.4%)、発病度0.01 (平年0.1) で、平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 241
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年43.2%)、発病果率6.8% (平年1.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 421 中 421 少 84 計 926
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.9% (平年60.7%)、寄生葉率1.7% (平年8.3%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 720
チャノキアザミマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 0% (平年2.3%)、被害果率 0% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	—
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 0% (平年0.9%)、被害果率 0% (平年0.2%) で平年並みであった。	県内全域	—
ナマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年2.3%)、被害果率0.05% (平年0.08%) で平年並みであった。	県内全域	少 90
ナシ (調査ほ場数:10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率80.0% (平年77.0%)、発病葉率3.6% (平年2.4%)、発病新梢率18.6% (平年19.7%) で平年に比べやや多かった。一部で多発園も認められた。	県内全域	中 47 少 140 計 187
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年4.0%)、発病葉率0.2% (平年0.03%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 47
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年33.3%)、発病葉率3.3% (平年1.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 24 中 24 少 24 計 72
輪紋病 うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率70.0% (平年47.0%)、寄生新梢率8.3% (平年4.9%)で平年に比べ多かった。主要種はミカンミドリアブラムシであった。	県内全域	甚 47 少 118 計 165
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアカカメムシ、ツヤアカカメムシ、クギカメムシ)	予察灯(県内6か所、5月6半旬～6月5半旬合計)における誘殺数は、253頭(平年165頭)で平年に比べやや多かった。優占種はツヤアカカメムシであった。フェロモントラップ(県内4か所)によるチャバネアカカメムシ6月の誘殺数は、188頭(平年1141頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—

(参考)6月のチャバネアカカメムシフェロモントラップ誘殺数(本年は5半旬までのデータ)

	2008年	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年
阿東	34	190	60	15	488	43	126
秋芳	22	101	194	10	1,505	2	947
山口落試※1	15	107	253	16	86	23	126
山口農試※2	117	123	417	—	903	2	471

※1農林総合技術センター落葉果樹試験地  
※2農林総合技術センター本場

## 3 野菜

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる6月の誘殺数は、228頭(平年234頭)で平年並みであった。	県内全域	—

2008年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																												
野菜、花き類 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる6月の誘殺数は、216頭(平年349頭)で平年並みであった。</p> <p><u>【参考】フェロモントラップでの6月の誘殺数</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市</td> <td>19</td> <td>25.3</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>37</td> <td>64.2</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>42</td> <td>58.5</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>8</td> <td>15.3</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>92</td> <td>156.3</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>柳井市</td> <td>58</td> <td>256</td> <td>前年より少</td> </tr> </tbody> </table> <p>※岩国市～萩市は6月1～4半旬、 下関市と柳井市は6月1～6半旬の合計 下関市の平年値は過去3年の平均 柳井市は前年値との比較。</p>	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価	岩国市	19	25.3	平年並	周南市	37	64.2	平年並	阿東町	42	58.5	平年並	萩市	8	15.3	平年並	下関市	92	156.3	やや少	柳井市	58	256	前年より少	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価																												
岩国市	19	25.3	平年並																												
周南市	37	64.2	平年並																												
阿東町	42	58.5	平年並																												
萩市	8	15.3	平年並																												
下関市	92	156.3	やや少																												
柳井市	58	256	前年より少																												

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6
F A X	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1
テレホンサービス	0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作物	担当者	
普通作	藤村 (病害)	中川 (虫害)
果 樹	村本 (病害)	殿河内 (虫害)
野 菜	岡田 (病害)	溝部 (虫害)